

目指せ明るい世界

浦安市立美浜中学校 1年 酒井 陽杜

世界には色々な人がいます。不安を抱えている人、楽しいことがあった人、悲しいことがあった人。ひとりひとり職業も違いますし生まれ育った場所も違います。犯罪をしてしまった人、そしてその人が更生し帰ってきたとき私達がどう考え、どのようにして生きていくのか考えたいと思います。

まず最初にぼくは、犯罪を犯してしまった人は第一印象少し怖いんです。ですが昔犯罪を犯してしまっても更生をして帰ってきています。話してもいないのにあの人は昔、悪いことをした人だ。とって悪い人と決めつけてはいけないと思います。人格を否定してはいけないと思います。なぜなら同じ「心」を持つ人間ですから。昔大変な状況にいたのかもしれませんが。

例えば親に虐待され、苦しくて、苦しくてストレスが貯まり発散をする所がなく人に暴力をしてしまったり。

お金がなくて生きるのに必死で売り物をぬすんでしまったり。なにか理由があり犯罪を犯してしまったのだとぼくは思います。つらい経験をした人にまたつらい事をしてしまったらぼくはかわいそうだと思います。あたたかく迎えあげた方がいい。ですがいやだなと思う人もいると思います。批判をしてはいけないとぼくは思います。犯罪を犯してしまった人が自分はここに居ていいんだと思わせる空気が大事だと思います。

そしてやっぱり勝手に決めつけないことが大事だと思います。

次は犯罪を犯してしまった人がどうやって社会復帰をしていくか考えたいと思います。

まず信頼されることが大事だと思います。ですが信頼をされるためにはとても時間がかかると思います。コツコツ何かを積み上げていく必要があります。

例えばすごく努力をして何か資格を取るなど自分はこんなことができるかとアピールをしなければいけないと思います。下からのスタートになるのでとても大変だと思います。

そして何年もの月日をかけてやっと信頼を取りもどせると思います。

ここまで大変な社会復帰はやはり犯罪を犯してしまうと良いことは一つもありません。

ですが犯罪を犯してしまう人はいっぱいいます。色々な理由があってやってしまう人が多いと思います。そして更生をし帰ってきます。

みんなでみんなが過ごしやすい環境を作っていきましょう。